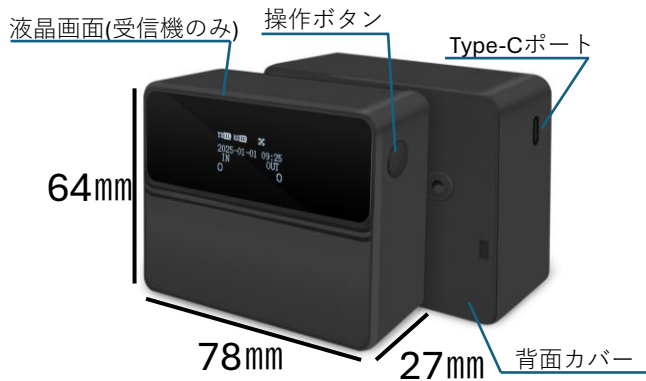


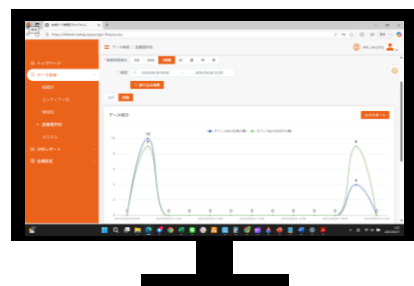
入退場カウンター 取扱マニュアル



製品仕様



スマホアプリ



プラットフォーム

製品名		入退場カウンター
主な機能		IN・OUT両方向への検知/オフライン・オンライン環境対応/Wi-Fi接続(VPN・WPA3対応) スマホアプリ(Bluetooth接続)/プラットフォーム(専用WEBサイト)/ワイヤレス運用可能/営業時間設定 スリープモード(省電力モード)バッテリー低残量時自動メール通知機能/赤外線光軸焦点ズレ検知機能 時間別・場所別比較データ分析/グラフ・表データ出力/複数アカウント共有機能/バージョンアップ機能
カラー		ブラック
ラインナップ		充電タイプ※長寿命バッテリー+バッテリー残量低下時メール通知機能有 有線給電タイプ
オプション		壁面固定セット 専用取付治具セット 屋外(防水・防塵)仕様セット ボックス防犯セット
サイズ		W78×D27×H64(mm)
重量	受信機(RX)	160g
	送信機(TX)	154g
		※バッテリー内蔵時はバッテリー2本分の重量(約58g×2本≒116g)が加算されます。
検知精度		推奨環境下で97%以上 ※グループの検知に弱い(レーザーの遮断が続くと1カウントとして処理されます) ※入退場が重なりと誤検知が発生する可能性
検知方式		赤外線レーザー式※
検知範囲	赤外線出力レベル1	(屋内)1~10m/(屋外)1~6m
	赤外線出力レベル2	(屋内)1~12m/(屋外)1~8m
	赤外線出力レベル3	(屋内)1~15m/(屋外)1~9m
推奨取付高さ		1.2m~1.4m ※主な検知ターゲット層の胸より上の高さで設置すると検知が安定します。 ※低い位置に設置すると手の振りによる誤検知が発生しやすくなります。
ローカルストレージ	日別	最大365日間分
	週別	最大100週間分
	月別	最大25カ月間分
	年別	最大10年間分
給電方法	充電タイプ	内蔵バッテリー：18650型リチウムイオン電池(公称電圧3.7V/容量5000mAh) ※送信機・受信機 各デバイスに2本ずつ内蔵 ※本体一体型のため、ユーザーによる取り外し・交換はできません。 ※充電にはType-C(5V0.5A~2A対応規格)を使用
	有線給電タイプ	Type-C(5V0.5A~2A対応規格)
ワット数		0.444mW~3700mW※使用条件により異なります。
バッテリー連続稼働時間	受信機(RX)	10-20カ月※スベック値/使用条件により異なります。
	送信機(TX)	108-365日間※スベック値/使用条件により異なります。
バッテリー寿命目安		充電回数：約500回(この時点で、初期容量の約70~80%程度まで低下します)

目次

I		付属品の確認	…	1
II		デバイス詳細		
	1	送信機	…	2
	2	受信機	…	3
	3	背面カバー	…	4
III		給電方法		
	1	充電タイプ	…	5
	2	有線給電タイプ	…	6
IV		設定方法		
	1	アプリのダウンロード	…	7 - 8
	2	アプリの更新・確認	…	9
	3	アプリの言語設定	…	9
	4	デバイスのBluetooth接続	…	10
	5	デバイスの更新・確認	…	11
	6	オフライン/オンラインモード	…	12
	7	オフラインモード設定	…	13 - 14
	8	オンラインモード設定	…	15 - 23
	9	動作テスト	…	24
V		設置方法		
	1	設置時の注意事項	…	25
	2	壁面への設置方法	…	26
	3	専用取付治具セットでの設置方法	…	27
	4	屋外(防水・防塵)仕様セットでの設置方法		29
	5	その他設置方法	…	30
VI		データの閲覧・出力		
	1	オフラインモード	…	31
	2	オンラインモード	…	32
VII		トラブルシューティング	…	33 - 35
VIII		注意事項および免責事項	…	36 - 38

I. 付属品の確認

✓ 付属品について

- デバイスのほか、給電用装備と各種取付治具を取り揃えております。
- ご注文セット通りの付属品が揃っているかをしっかりとご確認ください。
- 万が一不足がある場合は販売業者にお問い合わせください。
- 一部付属されない必需品については規格品をご自身でご用意ください。
- 設置方法は25～29ページをご参照ください。

付属品一覧表

標準付属品 【充電タイプ】



送信機×1・受信機×1※バッテリー内蔵/3Mシール×4/説明書×1

標準付属品 【有線給電タイプ】



送信機×1・受信機×1※バッテリーなし/電源ケーブル(3m)×2/3Mシール×4/説明書×1

壁面固定セット オプション



ネジ×4※壁面穴あけ必須/ボードアンカー×4※石膏ボード用

専用取付治具セット オプション



L字金具×1/背面カバー固定用小ネジ×4/結束バンド×2

屋外(防水・防塵)仕様セット オプション



防水・防塵プラボックス×1※専用アダプタ付き/ポール取付金具×4/長尺結束バンド×2

ボックス防犯セット オプション



防犯ワイヤーロック×1/専用解除器×1

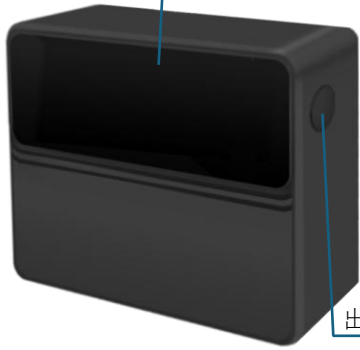
付属なし



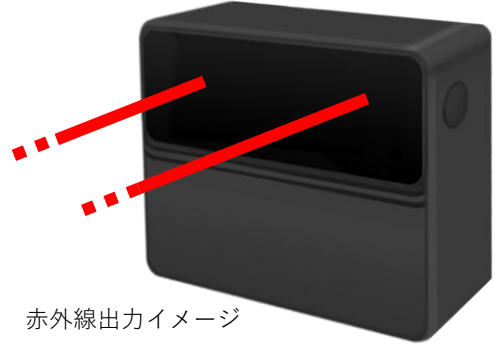
充電器・USB変換アダプタ(5V0.5A～2A対応)等 ※ご自身でご用意ください

II. デバイス詳細 ▶▶ 1. 送信機

出力レベル表示ランプ



出力レベル切替スイッチ



赤外線出力イメージ

- 給電中の送信機は常に赤外線を出力しています。
- 充電タイプの場合、常にバッテリーを消耗し続ける為、ご注意ください。
- 赤外線出力レベルはデバイス側面のボタンを押すことで3段階の切り替えが可能です。
- 赤外線出力レベルによってバッテリーの消耗ペースが変わります。
- 出力レベルによってカウントの検知距離とバッテリー連続稼働時間が変化します。
- 広い間口での使用は太陽光や反射物、障害物などによって検知漏れ・誤検知が発生しやすくなります。(使用する際は必ず事前検証を行った上で問題ないことをお確かめください。)

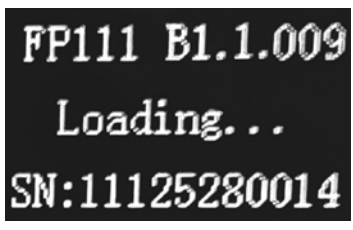
赤外線出力レベル別バッテリー連続稼働時間 早見表

出力レベル	表示ランプ	連続稼働時間
無点灯		-
レベル1		365日間
レベル2		256日間
レベル3		108日間

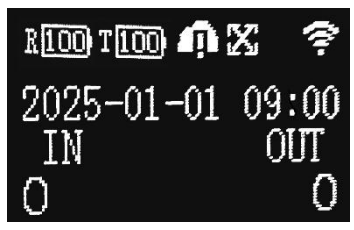
赤外線出力レベル別最大検知距離 早見表

環境	出力レベル	最大検知距離
屋外	レベル1	6m
	レベル2	8m
	レベル3	9m
屋内	レベル1	10m
	レベル2	12m
	レベル3	15m

II.デバイス詳細 ▶ 2.受信機



起動時表示画面



通常時表示画面

- 給電中の受信機はカウントしたデータを一定周期で本体に保存します。
- オンラインモード時は保存したデータを一定周期でサーバーにアップロードします。
- 上記保存周期とレポート周期は1分単位で設定変更可能です。
- 電波環境、カウント数、保存周期設定、レポート周期設定がバッテリー消耗に影響を与えます。
- 充電タイプの場合、保存周期およびレポート周期は長めに設定することを推奨します。
- 操作ボタンを3~8秒程度長押しするとBluetooth接続待機モードに移行します。
- 同じく、操作ボタンを3~8秒程度長押しするとBluetooth接続待機モードを解除します。
- 操作ボタンを8秒以上長押しするとデバイスを強制的に再起動します。
- 操作ボタンを押すと現在のデバイス情報が表示されます。15秒間操作がないと、表示がオフになります。

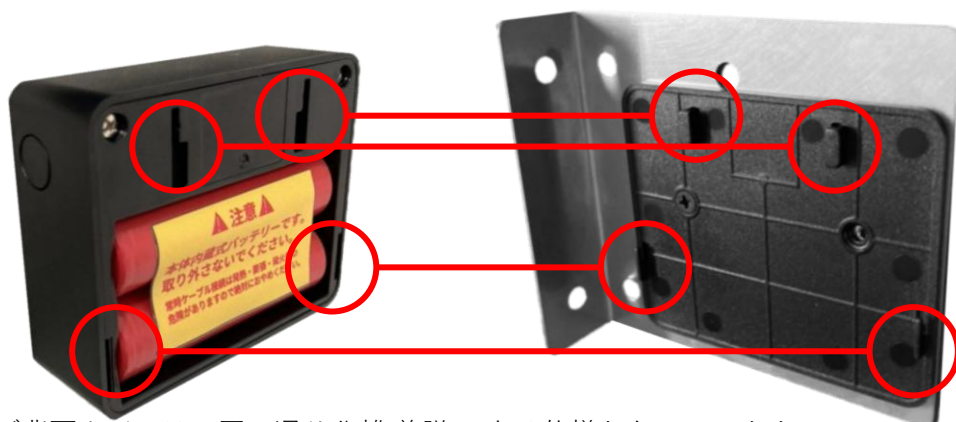
受信機アイコン早見表

起動時(ローディング中)の画面	通常表示画面

①	デバイス型番	デバイスの型番です。
②	ファームウェアVer.	デバイスファームウェアの現行バージョンです。
③	シリアルナンバー	デバイス固有のシリアルナンバーです。(クラウドとの紐付に使用)
④	バッテリー残量(RX)	受信機(RX)の現在のバッテリー残量です。 充電中 ※この表示は受信機限定
⑤	バッテリー残量(TX)	送信機(TX)の現在のバッテリー残量です。 ※焦点を合わせないと「0」表示になります。 ※表示される数字：0/10/40/70/100
⑥	クラウドステータス	データのクラウドサーバーへのアップロード状況を示します。 成功 未設定 失敗
⑦	光軸焦点ステータス	赤外線の光軸焦点合わせに使用します。 ズレあり 問題なし
⑧	Bluetoothステータス	Bluetoothの接続状況を示します。 マーク点灯：接続中/マーク点滅：接続待機中
⑨	Wi-Fiステータス	Wi-Fiの接続状況を示します。 シグナルレベル4段階 未接続 Wi-Fi機器エラー
⑩	現在時刻	現在の時刻を示します。
⑪	本日のカウント数	本日のIN/OUTカウント数を示します。(日付が変わるとリセットされます)

II. デバイス詳細 ▶ 3. 背面カバー

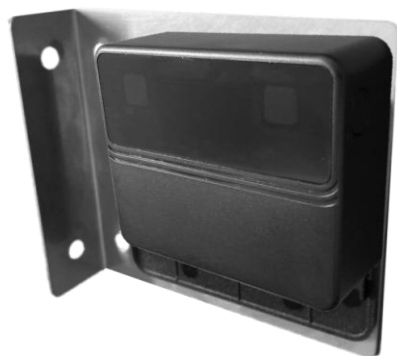
☑ 背面カバーとは？



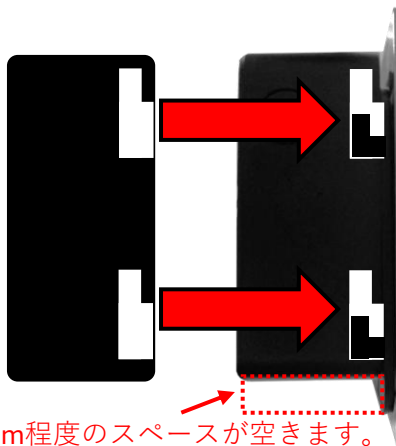
- デバイスおよび背面カバーは下図の通り分離(着脱)できる仕様となっています。
- 背面カバーの仕様は送信機・受信機で共通です。
- 分離仕様によって、充電の度にわざわざデバイスを壁から剥がすといた面倒な作業が不要になります。

背面カバーの取付け方法

- ① デバイスを水平に保った状態で、背面カバーに対してまっすぐに押し当てます。
※ 背面カバーに対して1cm程度上方向ズレた場所にツメ4点がしっかりと収まる位置があります。
- ② デバイスをまっすぐ下方向に軽く押し込むとカチッと嵌まり込めば取付完了です。

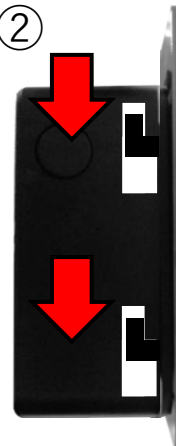


①



1cm程度のスペースが空きます。

②

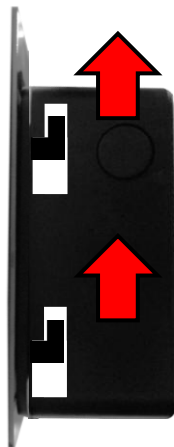


背面カバーの取外し方法

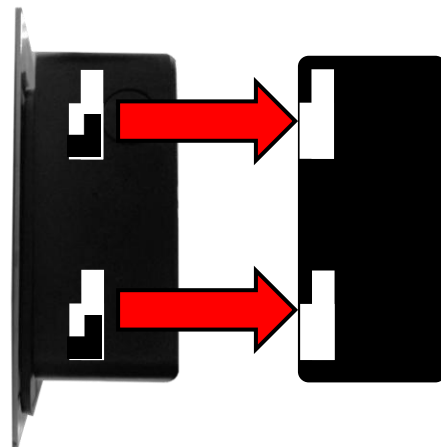
- ① デバイスをまっすぐ上方向に軽く持ち上げます。
- ② デバイスを水平に保った状態で、背面カバーに対して平行に引き抜けば取外し完了です。



①



②



過度に力を入れて着脱を行うとツメが割れてしまいますので、加減しながらの作業をお願いします。

III. 給電方法 ▶ 1. 充電タイプ

☑ 充電タイプとは？



- 本タイプは背面カバーを開けるとバッテリーが搭載されています。
 - 十分に充電された内蔵バッテリーによって長期間の連続稼働が可能です。
 - デバイスだけを設置箇所から取り外して充電することができます。(取り外し方は4ページを参照)
 - 充電タイミングは基本的には営業時間外(営業終了後～翌営業開始前まで充電するなど)を推奨します。
 - 一時的であれば、ケーブルを延長しデバイス本体に接続し、運用しながらの充電は可能です。
 - バッテリーの持ちが悪くなれば、メーカーによる預かり交換対応をご検討ください。(ユーザー交換不可)
- ※本タイプはバッテリーと本体の一体にて過充電対策しているの、バッテリーの取り外しはお控えください。
 ※常時ケーブル接続での運用はバッテリーの発熱・膨張・発火等の危険がありますので絶対にお控えください。

給電方法：充電タイプ

①PSE認証済みのType-C USBポート対応の電源ケーブルおよびACアダプタ(5V0.5A~2A対応)をご用意ください。



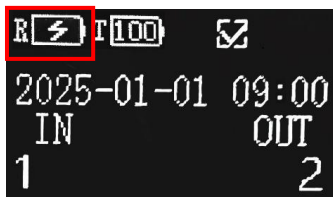
⚠ これらは標準で付属されておりませんのでご自身で別途ご用意ください。

②デバイス側面にあるType-C USBポートに対応の電源ケーブルを差し込むことで充電可能です。



③充電状態になっているかを確認してください。

- 送信機(左)：充電中は真ん中の青いランプが点滅
- 受信機(右)：充電中は  マークが出現



④数時間後、充電器を外して電池残量を確認します。Rは受信機、Tは送信機を示しております。両方を100(%)近くまで充電すれば完了です。

- 受信機(R)は1%刻みで表示されますが、送信機(T)は下記の仕様になっています。
- スリープ中は0(%)表示になります。
- 赤外線光軸焦点ズレ中は0(%)表示になります。
- 残量は赤外線出力からの推定値のため目安表示です。表示目安(5段階)：100：71~100% / 70：41~70% / 40：11~40% / 10：1~10% / 0：0%



III.給電方法 ▶ 2.有線給電タイプ

有線給電タイプとは？



- 本タイプは停電などの事態を除けば、充電作業などが一切不要です。
 - 本タイプは常時無線給電での運用を想定している為、バッテリーが搭載されておりません。
 - 本タイプには3mのL字の電源ケーブルが付属されています。
- ※バッテリーのご使用は、バッテリーの発熱・膨張・発火等の危険がありますので絶対にお控えください。
※取付方法によってはケーブルが壁やゲートに干渉し、断線の原因となる為ご注意ください。

給電方法：有線給電タイプ

①PSE認証済みのType-C USBポート対応のACアダプタ(5V0.5A~2A対応)をご用意ください。
※標準付属品の電源ケーブルは3mなので、長さが足りない場合は別途ご購入ください。

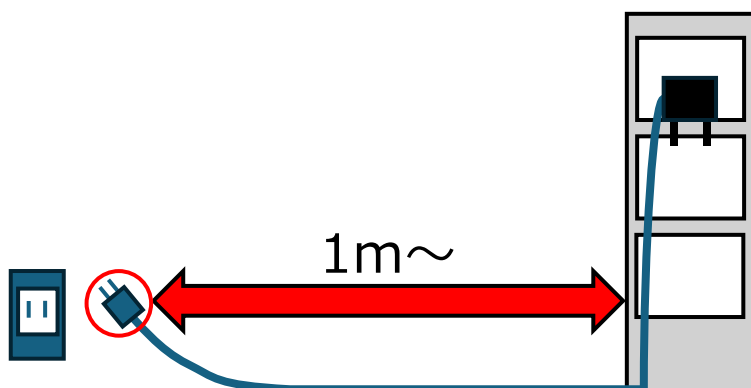


こちらは標準で付属されておりませんので
ご自身で別途ご購入ください。

②デバイス側面にあるType-C USBポートに対応の電源ケーブルを差し込むことで給電します。
※規格に問題がなければデバイスは起動します。
起動しない場合は給電機器を見直してください。




③防犯ゲートに取付する場合は、ACアダプタ(電源)をゲートから最低1m程度離してご使用ください。
※ACアダプタ部分がノイズの発生源となり、防犯ゲートが誤作動する原因になります。

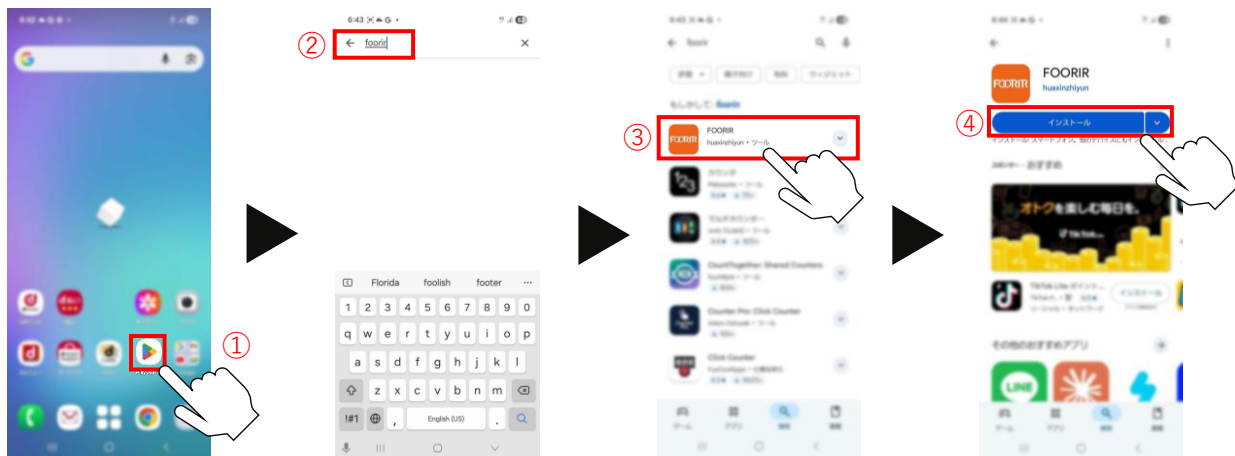


IV.設定方法 ▶ 1.アプリのダウンロード

Androidの場合




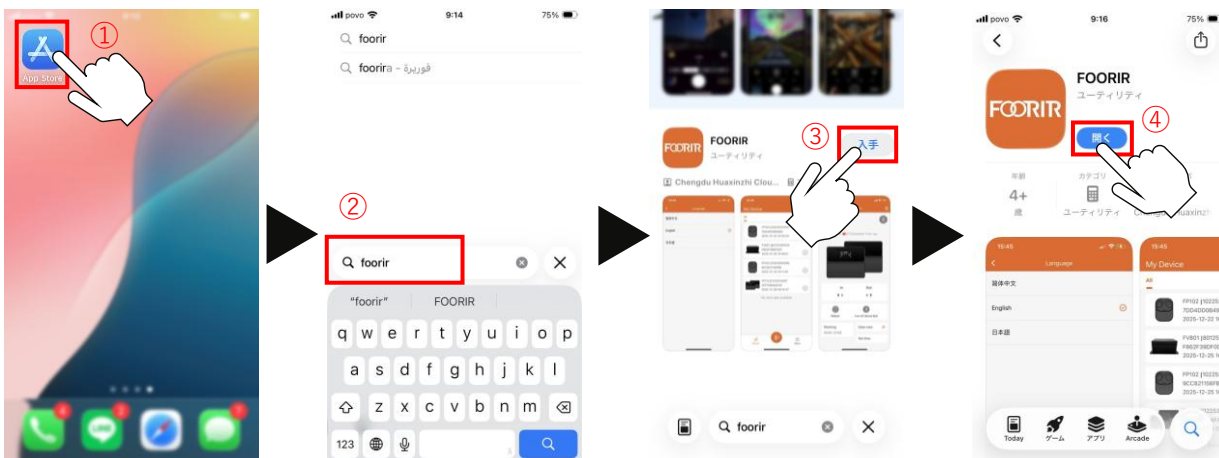
- ① 「Playストア」を起動します。
 - ② ワード検索で「FOORIR」と入力し、検索します。
 - ③  アイコンを選択します。
 - ④ 「インストール」を選択し、完了後は「開く」を選択してアプリを起動させてください。
- QRコード読み込みで①～③省略可能



iPhoneの場合



- ① 「App Store」を起動します。
 - ② ワード検索で「FOORIR」と入力し、検索します。
 - ③  アイコン横の「入手」を選択します。
 - ④ インストール完了後は「開く」を選択してアプリを起動させてください。
- QRコード読み込みで①～③省略可能



IV.設定方法 ▶ 2.アプリの更新・確認

Androidの場合

Androidのアプリ版にはiPhoneのように「アップデートを確認する」項目が存在しない為、「Playストア」7ページの流れと同じように検索してから更新があるかを確認してから更新してください。

iPhoneの場合

現行が最新かどうかは「アプリ情報」▶「アプリバージョン」を選択することで確認できます。


※最新バージョンであればメッセージが表示されます。
最新でなければここからアップデート可能です。

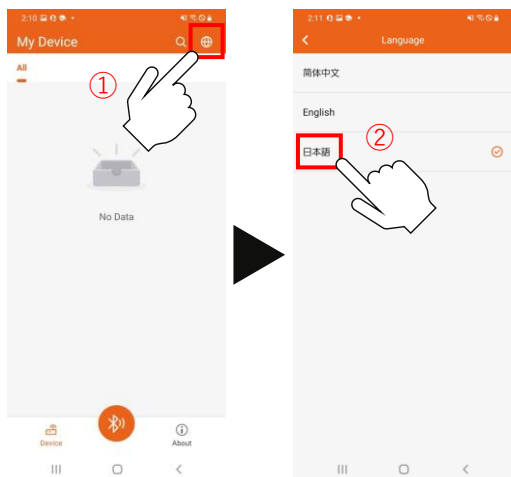


IV.設定方法 ▶ 3.アプリの言語設定


アプリの言語設定については、下記2通りの方法があります。

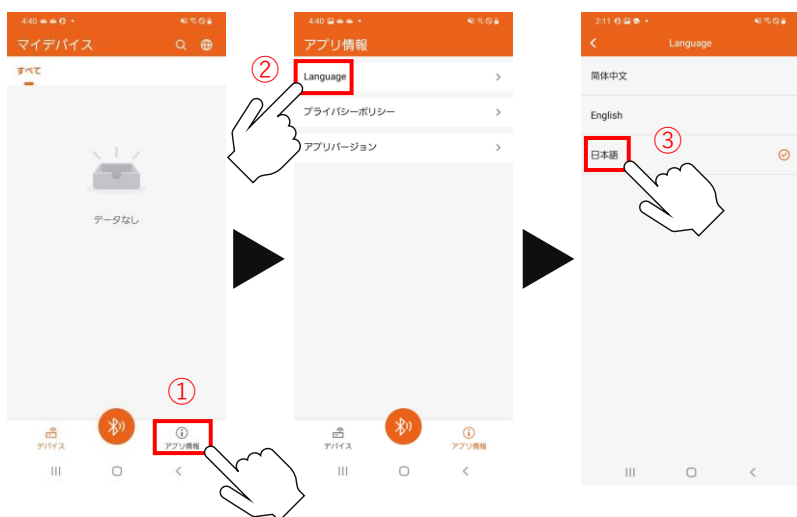
方法①

- ①  マークを選択します。
- ② 任意の言語を選択します。



方法②


- ①  マークを選択します。
- ② 「Language」を選択します。
- ③ 任意の言語を選択します。



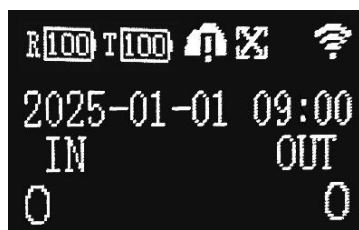
IV.設定方法 ▶ 4.デバイスのBluetooth接続

①起動済みの受信機とアプリ導入済みのスマホを用意してください。

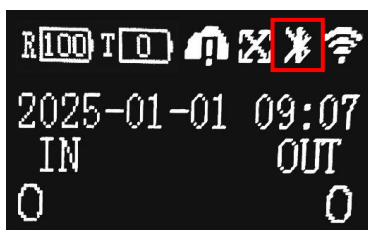


②受信機側面のボタンを**3秒程度**長押ししてください。
すると受信機の画面上で  マークが点滅して、接続待機状態になります。



※**長押ししすぎるとデバイスが再起動を開始する**のでご注意ください。

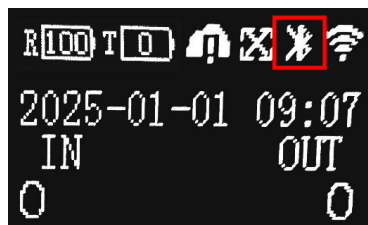


初期状態(マークなし)



接続待機状態(マーク点滅)

③アプリにて  ボタンを選択し、デバイスの検索を開始します。
デバイスが見つかったら下記画面のように表示されますので選択してください。
(デバイス接続中は、受信機の画面上では  マークが常時点灯となります。)
下記の通り、デバイス情報画面に移行すると成功です。



接続完了(マーク常時点灯)

④一度接続が完了したデバイスは、次回以降は「マイデバイス」よりアクセス可能になります。



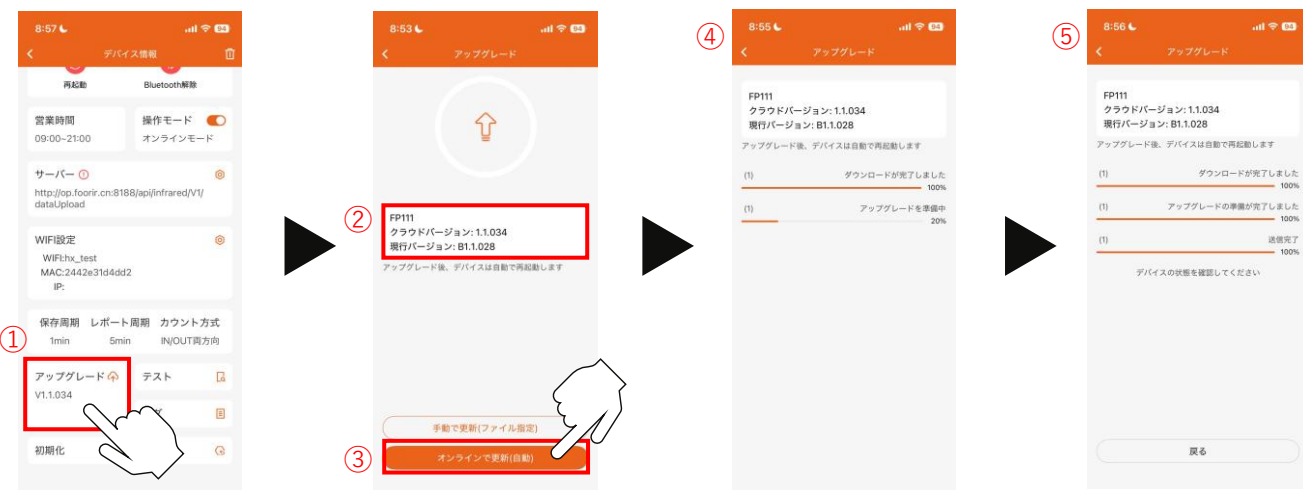
IV.設定方法 ▶ 5.デバイスの更新・確認

- ⑩前準備として、10ページを参照しBluetooth接続状態にしてください。
この先は更新(アップグレード)の方法が2つありますので、状況に応じて適切な方を選択してください。

オンラインで自動更新する場合

デバイスのバグ修正や機能追加等の更新時に
デバイスのアップグレードを行います。

- ①「デバイス情報」の中から「アップグレード」を選択します。
- ②下記の通りファームウェアのバージョンが表示されます。
クラウドバージョン：クラウド上に配布されている最新バージョンです。
現行バージョン：デバイス側にインストールされているバージョンです。
- ③「オンラインで更新(自動)」を選択します。
- ④この時、現行バージョンがクラウドバージョンより古ければ 自動で最新版への更新を開始します。
(デバイス側は「Upgrading」と表示されます。更新中は他の操作をしないようにしてください。)
- ⑤更新が終了すると、デバイスは自動で再起動します。(デバイス側を確認してください。)

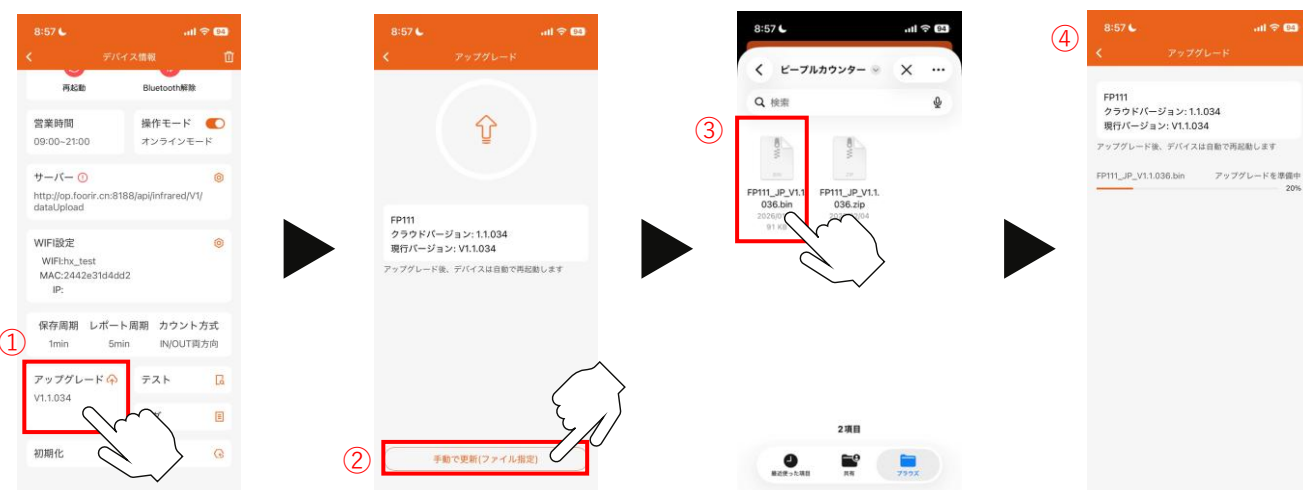


基本的には1分以内に更新は完了しますが、更新の進行が止まった場合は、
デバイスおよびスマホアプリを一度消して再起動すると、更新がスムーズに進む場合があります。

ファイルを指定し手動更新する場合

本手順は特別な修正パッチが当てられたりする
場合を除き、通常は使用しません。

- ①「デバイス情報」の中から「アップグレード」を選択します。
- ②「手動で更新(ファイル指定)」を選択します。
- ③スマホのファイルにあらかじめ保存しておいた更新用ファイル(bin)を選択します。
- ④選択すると自動で更新を開始し、更新が終了すると、デバイスは自動で再起動します。



zipファイルで渡された場合は、必ず解凍してbinファイルの状態にしなければ更新が始まりません。

IV.設定方法 ▶ 6.オフライン/オンラインモード

☑ オンライン/オフラインモードとは？

オフラインモード：スマホアプリによるBluetooth接続のみでデバイスを1台ずつ設定・管理します。
Wi-Fi環境がない場合はこちらのモードを使用します。

オンラインモード：スマホアプリ+プラットフォームによって複数デバイスを一括で設定・管理します。
組織や設置箇所ごとのデータ比較など、出力のバリエーションも豊富な為、
Wi-Fi環境がある場合はこちらのモードを推奨します。

オフラインモード切替

オンラインモードからオフラインモードへの切替方法です。
既にオフラインモードになっている場合は操作不要です。

- ①前準備として、10ページを参照しBluetooth接続状態にしてください。
- ①デバイス情報画面を開きます。
- ②画面を下にスクロールします。
- ③「操作モード」がオンラインモードになっていたら、 ボタンを選択します。
- ④「OK」を選択すると切替完了です。



オンラインモード切替

オフラインモードからオンラインモードへの切替方法です。
既にオンラインモードになっている場合は操作不要です。

- ①前準備として、10ページを参照しBluetooth接続状態にしてください。
- ①デバイス情報画面を開きます。
- ②画面を下にスクロールします。
- ③「操作モード」がオフラインモードになっていたら、 ボタンを選択します。
- ④「OK」を選択すると切替完了です。

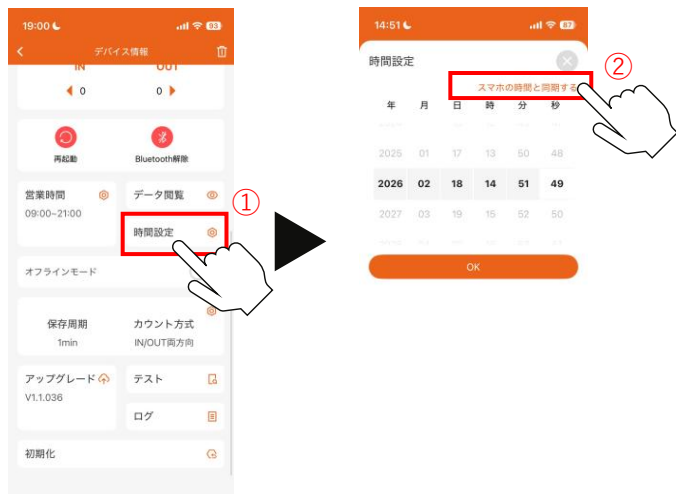


IV.設定方法 ▶ 7.オフラインモード設定

時間設定

オフラインモードでは、デバイスの現在時刻設定はスマホアプリによって行います。

- ①「デバイス情報」の中から「時間設定」を選択します。
- ②「スマホの時間と同期する」を選択します。
※手動での変更も可能ですが、基本的には上記の方法を推奨いたします。
- ③デバイス側を確認して、時刻が同期していれば完了です。
※時刻が同期しない場合はデバイスやスマホアプリの再起動をお試しください。



営業時間の設定

営業時間を設定することにより、設定された時間のみカウントするようになります。

- ①「デバイス情報」の中から「営業時間」を選択します。
 - ②開始時間と終了時間をそれぞれ設定してください。
 - ③時間設定が終わったら「OK」を選択して保存します。
 - ④変更した営業時間が反映されていたら完了です。
- ※設定された時間中のみカウントします。それ以外の時間はスリープモード(省電力モード)になります。
※24時間カウントしたい場合は「00:00~23:59」と設定してください。



IV.設定方法 ▶ 7.オフラインモード設定

カウントルール設定

カウントルール設定では、入退場の方向を逆にしたり、入退場のカウント区別をなくしたりすることが可能です。

①「デバイス情報」の中から下記赤枠内を選択します。

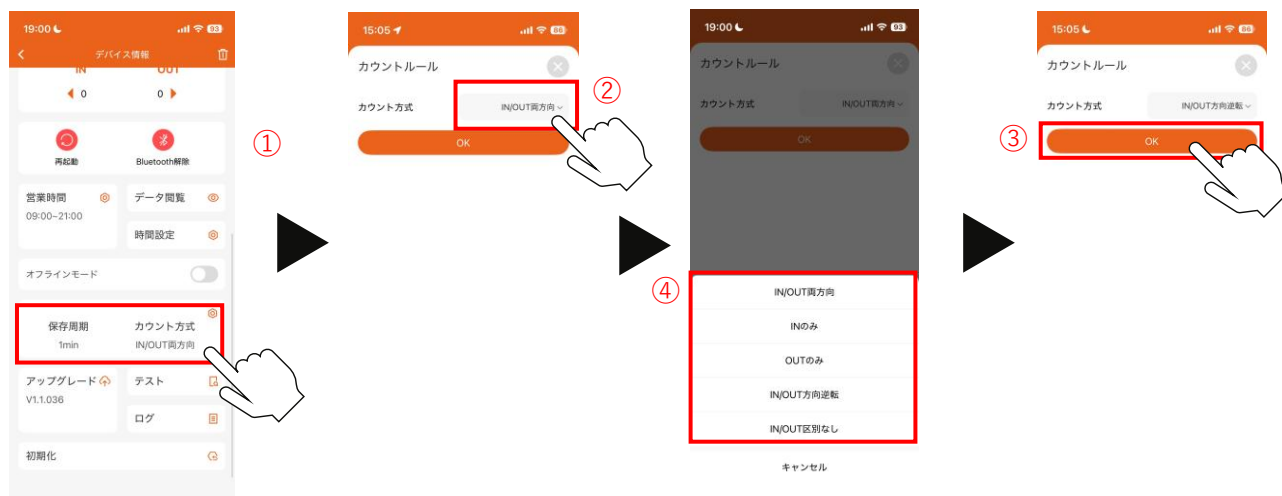
②カウント方式のプルダウンを選択します。

③任意のカウント方式を選択します。

※カウント方式の詳細は下記表をご参考ください。

※オフラインモードでは保存周期(デバイスがカウントデータを保存するタイミング)は1分で固定です。

④「OK」を選択すると設定完了です。



赤外線カウントルール 早見表

IN/OUT両方向	IN/OUT双方向をカウントします。(デフォルト設定)
INのみ	IN方向のみカウントします。
OUTのみ	OUT方向のみカウントします。
IN/OUT方向逆転	INとOUTのカウント方向を逆にします。
IN/OUT区別なし	IN/OUTの区別をなくし、総数でのカウントにします。

IV.設定方法 ▶ 8.オンラインモード設定

オンラインモードでは、スマホアプリ上でWi-Fi接続設定、PCプラットフォーム上で詳細設定を行います。

アカウント登録

オンラインモードの利用にはアカウント登録が必須です。
まずは下記手順に従って登録を進めてください。

- ①PCで「https://vf.foorir.com/jp/login」にアクセスします。
※現行プラットフォームはPCのみ対応しています。
※このページは頻繁に利用する為、お気に入り登録しておくことを推奨します。
- ②「アカウントの登録」を選択します。
- ③日本語表示になっていなければ、🌐マークを選択し、「日本語」を選択します。
※ここで選択した言語が、今後の自動メールメッセージでの言語になります。
- ④下記欄へ入力を行います。
※最初に登録したアカウント名はマスターアカウントとなり、後から変更ができません。
- ⑤「承認コードの取得」ボタンを押した後、入力したメールアドレスのメールボックスを確認します。
※認証コードはすぐに届かない場合があります。認証コードが届かない場合は再度お試しください。
- ⑥メールで届いた認証コードを入力し、最後に「登録」ボタンをクリックします。
※「ログインに行く」は間違えて押さないようお気を付けください。(入力情報がリセットされます。)

IV.設定方法 ▶ 8.オンラインモード設定

ログイン方法

前項でアカウント登録した場合のプラットフォームへのログイン方法の説明です。

- ① ログイン画面(<https://vf.foorir.com/jp/login>)にアクセスします。
- ② 設定したIDとパスワードを入力します。
- ③ 自動生成の認証コード(半角アルファベット4文字)を入力します。
- ④ 「ログイン」を選択します。

組織設定

アカウント登録時に設定済なので基本的には設定不要です。部署や部門などを必要に応じて追加登録してください。

- ① 「各種設定」▶「組織」を選択します。
※組織内に下部組織(支店・部署・部門・グループなど)が存在する場合はこちらから追加設定可能です。
- ② + アイコンを選択して新規作成します。
- ③ 「組織名」を入力します。
- ④ 「確認」を選択します。
※組織名を変更したい場合は アイコンを選択して編集します。

IV.設定方法▶8.オンラインモード設定

拠点設定

拠点の設定をします。
店舗や事業所などの建物単位で設定することを推奨します。

- ①「各種設定」▶「拠点」を選択します。
- ②「新規作成」を選択します。****印は入力必須項目です。**
- ③「拠点名」を入力します。****拠点名は設置先の事業所や店舗などの建物名にすることを推奨します。**
- ④連絡先電話番号を入力します。
- ⑤メールアドレスを入力します。****バッテリー低残量時には、登録メールアドレス宛に通知メールが届きます。**
- ⑥組織単位(親組織)を選択します。
- ⑦営業時間を設定します。****営業時間の設定にご注意ください。(営業時間外はカウントしません。)**
- ⑧都道府県名と住所を入力します。
- ⑨タイムゾーンを選択します。****日本のタイムゾーンは「UTC/GMT+9:00」です。**
- ⑩「確認」を選択します。

各種設定 / 拠点

* 組織名 企業警備保障株式会社 エリア 入力してください

+ 新規作成

* エリア 入力してください

* 連絡先 入力してください

* メールアドレス 入力してください

* 組織 選択してください

* 営業時間 09:00 ~ 22:00

都道府県名 入力してください

住所 入力してください

* タイムゾーン UTC/GMT+09:00

コメント 入力してください

キャンセル 確認

各種設定 / 拠点

新規作成

* 組織名 エリア 入力してください

+ 新規作成

エリア 例外プッシュ 操作

10件/ページ < 1 > 1 ページ目へ 総計 1 件

メール通知 詳細 編集 削除

拠点出入口

設置箇所名 入力してください

絞り込み検索 リセット

+ 新規作成 削除

設置箇所名	所属拠点	コメント	作成時間	操作
-------	------	------	------	----



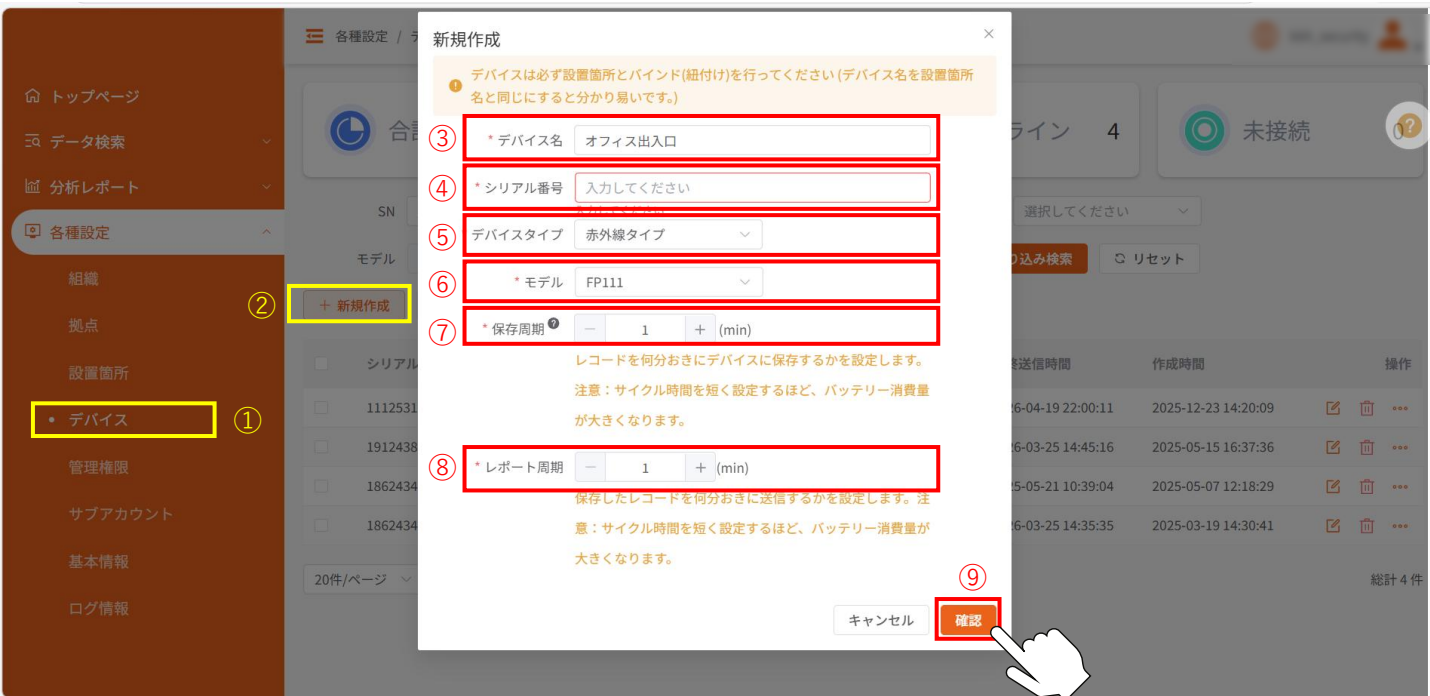
メール通知設定をオンにすると、登録したメールアドレスにバッテリー低残量などをお知らせします。

IV.設定方法 ▶ 8.オンラインモード設定

デバイス設定

アカウントへのデバイスの登録設定をします。
デバイスのシリアル番号等の情報が必要です。

- ①「各種設定」▶「デバイス」を選択します。
※デバイスが既に他のアカウントに紐付けされていると登録できませんのでご注意ください。
(その場合は、他のアカウントに登録されたデバイス情報を一度削除する必要があります。)
- ②「新規作成」を選択します。※*印は入力必須項目です。
- ③任意の「デバイス名」を入力します。※設置先など個体の識別がしやすい名称にすることを推奨します。
- ④「シリアル番号」を入力します。※シリアル番号は受信機やスマホアプリのデバイス情報に表示されています。
- ⑤「デバイスタイプ」は「赤外線タイプ」を選択します。
- ⑥「モデル」は「FP111」を選択します。
- ⑦「保存周期」を設定します。
※保存周期：設定した周期(分)ごとにカウントデータをデバイスのローカル記憶領域に保存します。
- ⑧「レポート周期」を設定します。
※レポート周期：設定した周期(分)ごとにデバイスが保存データをサーバーにWi-Fi送信します。
※レコード周期は設定した保存サイクルの倍数でのみ設定可能です。
- ⑨「確認」を選択します。



IV.設定方法 ▶ 8.オンラインモード設定

設置箇所設定

設置箇所の設定をします。
デバイスとの紐付け(バインド)設定をする前に必要な設定です。

- ①「各種設定」▶「設置箇所」を選択します。
- ②設置箇所の所属拠点を選択します
- ③「新規作成」を選択します。****印は入力必須項目です。**
- ④任意の「設置箇所名」を入力します。
****複数台設置する場合は見分けがつくように設定することを推奨します。**
- ⑤設置箇所の「所属拠点」を選択します。
- ⑥「拠点出入口」かどうかを選択します。
****「いいえ」を選択した場合、組織や拠点のカウンタデータには反映されません。(出入り人数が重複する為)**
- ⑦「確認」を選択します。

各種設定 / 設置箇所

バインド登録 | バインド解除 | 編集 | 削除

設置箇所名 入力してください

絞り込み検索 リセット

+ 新規作成 編集 削除

最初の15件のみ表示しています

設置箇所	所属拠点	デバイス…	コメント	作成時間	操作
					編集 削除
					編集 削除
					編集 削除
					編集 削除
					編集 削除
					編集 削除

10件/ページ < 1 > 1 ページ目へ 総計 6 件

新規作成

④ * 設置箇所名 オフィス出入口

⑤ * 所属拠点

⑥ * 拠点出入口 しない する

この設置箇所がエリアの出入口にあたるかどうか


コメント 入力してください

キャンセル 確認

IV.設定方法 ▶ 8.オンラインモード設定

紐付け(バインド)設定

デバイスと設置箇所の紐付け(バインド)設定をします。
事前に「デバイス」「設置箇所」設定を完了させてください。

- ①「各種設定」▶「設置箇所」を選択します。
- ②紐付けする設置箇所の  マークを選択します。
- ③紐付けするデバイスを してください。
- ④「確認」を選択します。




設定完了後「デバイス」を確認すると
未接続数がひとつ減っています。

未接続	1
未接続	0

紐付け(バインド)解除方法

デバイスと設置箇所の紐付け(バインド)を解除します。
1台1箇所の制限の為、解除しないと新たに紐付けができません。

- ①「各種設定」▶「設置箇所」を選択します。
- ②紐付けを解除する設置箇所の  マークを選択します。
- ③紐付けを解除するデバイスを してください。
- ④「バインド解除」を選択します。



IV.設定方法 ▶ 8.オンラインモード設定

Wi-Fi接続設定について

- ・Wi-Fi接続設定は、スマホアプリから行います。
- ・必ず先に前項の「紐付け(バインド)設定」を完了してからWi-Fi接続設定に移行してください。
- ※仮に順番が逆でエラーになった場合は、再度Wi-Fi接続設定を行ってください。
- ・成功するとデバイス上に右のいずれかのアイコンマークが表示されます。
- ・成功したにもかかわらず、**アプリ上やデバイス上に表示遅延**が発生することがあります。
- ※時間が経てば正常に反映されますので、**繰り返し接続を試みず、反映までしばらくお待ちください。**



通常のWi-Fi(IP自動取得)の場合

通常のWi-Fiの場合の設定方法になります。
Wi-Fi名とパスワードがあれば設定可能です。

- ①「デバイス情報」の中から「WIFI設定」を選択します。
- ②「Wi-Fiを検索」を選択します。この時「DHCP(IP自動取得)」が になっていることを確認してください。
- ③接続先リストが表示されるので、その中から接続したいWi-Fi名を選択します。
- ④接続先のパスワードを入力します。**※事前に準備をしておいてください。**
- ⑤「接続する」を選択し、「接続完了しました」のメッセージが表示されれば完了です。



VPN(固定IP)接続の場合

固定IPのWi-Fi(VPN)の場合の設定方法になります。
固定IP情報の用意が事前に必要です。

- ①「デバイス情報」の中から「WIFI設定」を選択します。
- ②上記の「通常のWi-Fi(IP自動取得)の場合」を参考に「WIFI」「パスワード」を入力してください。
- ③「DHCP(IP自動取得)」が になっているなら、 にして固定(手動設定)モードに切り替えます。
- ④必要な項目を入力します。**※事前に準備をしておいてください。**
- ⑤「OK」を選択し、「接続完了しました」のメッセージが表示されれば完了です。



! 設置先のWi-Fi環境は事前にお調べください。WPA3やVPNといったハイセキュリティなWi-Fi環境の場合、管理部署にて設置予定のデバイスの数だけ固定IP割り振りしておく等の事前段取りが必要です。

IV.設定方法 ▶ 8.オンラインモード設定

❑ 不要な機能を削除/複数人でプラットフォームを共有するには？

プラットフォームは、複数方式のカウンターの為の表示項目や機能が備わっており、本製品だけを使うユーザー様にとって不要な項目が存在しています。そのほか「この人には閲覧だけで設定権限は付与したくない」や「店舗間で別店舗のデータが閲覧できないようにしたい」といった場合などにも、やはり使いにくい印象を与えます。本項目ではそんなお悩みを解決するとともに、複数人でひとつのプラットフォームを共有管理する方法について解説します。**※本項目は必須設定ではありません。**

管理権限設定

サブアカウントを作成する前に必要な設定で、そのアカウントが閲覧・操作できる範囲を設定します。

- ①「各種設定」▶「管理権限」を選択します。
 - ②「新規作成」を選択します。
 - ③任意の情報を設定し、「確認」を選択して、管理クラスを作成します。
 - ④先ほど作成した「管理クラス名」を選択します。
 - ⑤右側の権限の中で必要な権限のみチェック(☑)を入れます。最後に「保存」を選択します。
- ※なお、最初に作成したアカウントはマスターアカウントとなり、権限の変更・削除が不可能です。

The screenshot shows the 'Management Permissions' page with a 'New Creation' dialog box open. The dialog box contains the following information:

- 管理クラス名: 一般ユーザー
- ID: general_user
- コメント: データ検索と分析レポートは可能、各種設定は不可能

The '確認' (Confirm) button is highlighted with a hand cursor.

The screenshot shows the 'Management Permissions' page with the 'New Creation' dialog box and the 'Permissions' section. The 'New Creation' dialog box is highlighted with a blue box and labeled '新規作成'. The 'Permissions' section is highlighted with a blue box and labeled '各種権限'. The '保存' (Save) button is highlighted with a hand cursor.

The 'Permissions' section shows the following checked permissions:

- データ検索
- 組織別
- 拠点別
- 領域別
- 設置箇所別
- カスタム

The '保存' (Save) button is highlighted with a hand cursor.

IV.設定方法 ▶ 8.オンラインモード設定

サブアカウント設定

複数人で共有利用する為のサブアカウントを作成します。
先に「管理者権限設定」を完了してください。

- ①「各種設定」▶「サブアカウント」を選択します。
- ②任意の「組織名」を選択します。
- ③「新規作成」を選択します。
- ③任意の情報を設定し、「確認」を選択して、サブアカウントを作成します。
※「管理クラス名」は「管理者権限設定」で作成した中から任意のものを選択します。
※「権限範囲」では、どの組織範囲まで閲覧・操作が共有できるかを選択します。
- ④「確認」を押すと、サブアカウントとパスワードが発行されます。(※これを担当者に共有します。)

各種設定 / サブアカウント

入力してください

サブアカウント名 入力してください

ステータス 選択してください

絞り込み検索 リセット

新規作成 編集 削除

+ 新規作成

サブアカウント名	アカウント	連絡先	メールアドレス	ステータス	作成時間	操作
				有効	2026-04-1...	編集 削除
				有効	2026-03-2...	編集 削除
				有効	2025-05-2...	編集 削除
				有効	2024-08-2...	-

20件/ページ < 1 > 1 ページ目へ 総計 4 件

各種設定 / サブアカウント

入力してください

サブアカウント名 入力してください

ステータス 選択してください

新規作成 ④

サブアカウント名 サブアカウント

* アカウント sub_account

連絡先 入力してください

メールアドレス 入力してください

* 管理クラス名 一般ユーザー ×

管理クラス名は「管理権限」であらかじめ作成してください。

権限範囲 組織 拠点単位

* 組織名

キャンセル 確認

⑤ ヒント

! アカウント: [redacted] デフォルトパスワード:123456

確認

⚠ サブアカウントユーザーは、アカウントとパスワードでログイン後すぐパスワード変更を推奨します。

IV.設定方法 ▶ 9.動作テスト



テストについて

設置設定の不備がないかのエラーチェック機能です。
設定が上手くいかない場合に利用してください。

- ①「テスト」を選択します。
- ②即座にスキャンが開始されるので、スキャンが完了するまで待ちます。
- ③設置・設定上の不備があれば下記表のようなエラー内容が表示されます。
- ④エラーをクリアしたら、「再テスト」を選択してください。
- ⑤全てのエラーがクリアできれば「すべて正常に動作しています!」と表示されます。



エラーメッセージ内容およびその対処方法

機器の焦点が合っていない	受信機が送信機からの赤外線をうまく受け取れていない状態です。エラーを解消するには、機器同士を向かい合わせに置いて、焦点を合わせてください。本設置の際は、ズレがないようしっかりと測量して設置してください。
ネットワーク接続に失敗しました 【オンラインモード限定】	Wi-Fi接続ができていない状態です。エラーを解消するには、ネットワーク接続設定を見直してください。自動IP取得設定の場合は接続先モデムやルーターのID/パスワードが間違っていないかを再確認し、固定IP(WPA3/VPN接続)設定の場合は、事前準備の上、情報が間違っていないかを再確認してください。
サーバー接続に失敗しました 【オンラインモード限定】	ネットワーク接続がサーバーまで届いていない状態です。基本的には上記の「ネットワーク接続に失敗しました」のエラーに付随して発生します。サーバー側に問題がある場合はサーバー管理会社によるサーバーメンテナンスおよび復旧作業完了までお待ちください。
サーバーがバインドされていません 【オンラインモード限定】	サーバーにデバイスがバインド(紐づけ)されていない状態です。エラーを解消するには、プラットフォーム側で紐づけ設定を完了してください。

V.設置方法 ▶ 1.設置時の注意点

☑ 設置時の注意事項

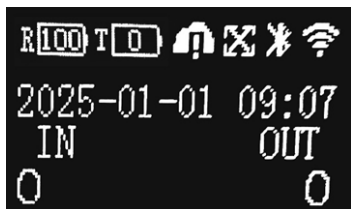
デバイスを設置する際の注意点についてまとめています。
正確な検知をする為の要点なのでぜひご一読ください。

■ 同じ高さ・水平かつ平行な設置

正確に向かい合わせになっているかどうかは
設置後受信機画面を確認してください

: 光軸焦点ズレ

: 光軸焦点OK

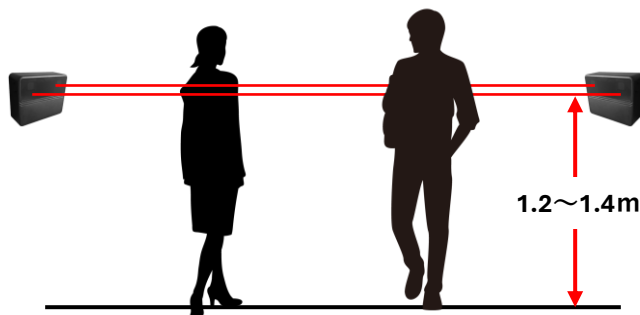


■ 設置推奨高さ

床面から1.2~1.4m

※大人を主な検知対象とした場合

※メインのターゲットの平均身長に合わせて
胸から頭の高さで通過するように調整

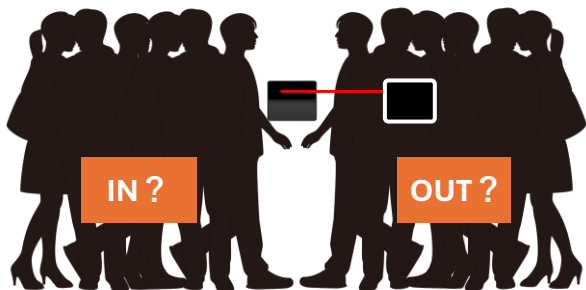


■ 人流の滞留が発生しない場所

人が立ち止まったり、流れが滞りやすい場所
(混雑・詰まりが発生する箇所)に設置しない

※誤検知が発生しやすくなります

※自動ドアのように一瞬立ち止まる程度はOK

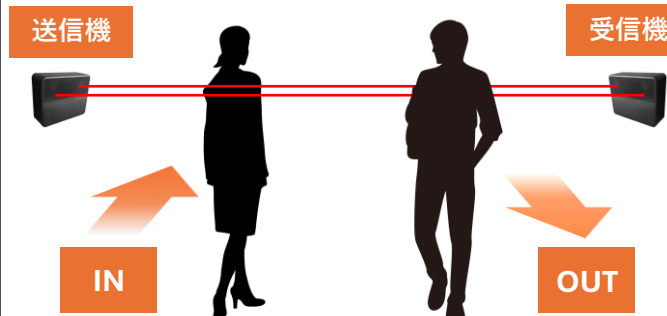


■ IN/OUTのカウントの方向性

基本的には外側から見て右側に受信機

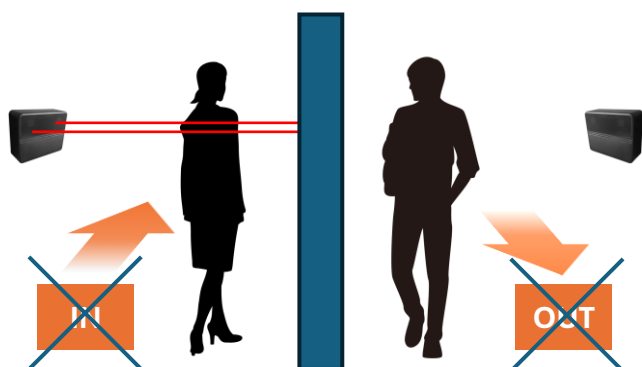
左側に送信機を設置するのが正位置です

※カウント方向設定で逆方向にすることも可



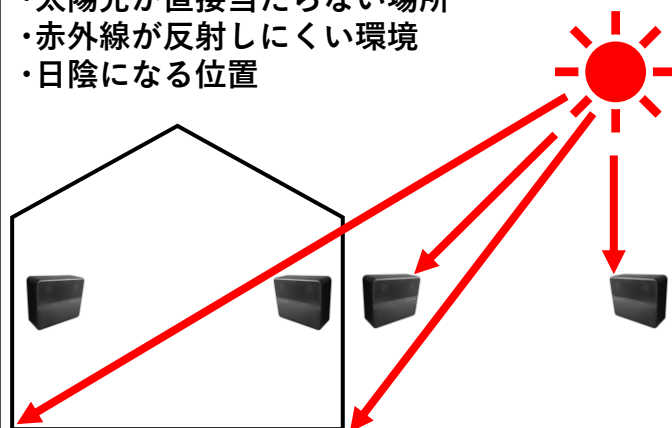
■ 赤外線の間には遮蔽物がないこと

送信機から受信機に照射された赤外線が遮断
された時間で検知を判断する仕組みなので
遮蔽物があると検知されません



■ 機器の動作条件を満たす環境

- ・動作温度範囲：0~40℃
- ・湿度：40~80%(結露しないこと)
- ・太陽光が直接当たらない場所
- ・赤外線が反射しにくい環境
- ・日陰になる位置



V.設置方法 ▶ 2.壁面への設置方法

壁面設置用部品について

- 壁面設置には下図3種の部品および場合により2種の工具が必要です。
- これらの部品は、平行に向かい合う2つの壁面に対して平行に取付する場合に有効です。



3Mシール



ネジ



ボードアンカー



プラスドライバー
※付属なし

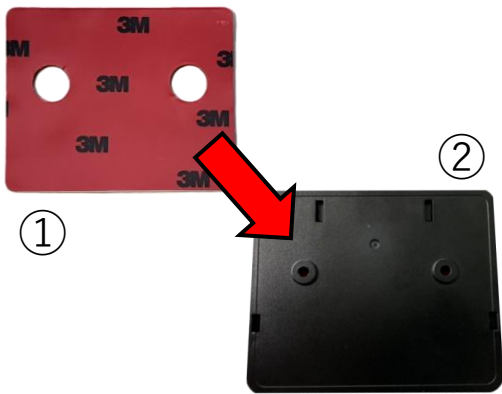


電動ドリル
※付属なし

穴開け不可能な壁面の場合

局所の壁や粘着素材と相性が悪い壁などを除き、最も簡単かつ安定した設置方法になります。

- ①専用シールの片面を剥がし、デバイスの背面に貼り付けします。
 - ②もう片面も剥がしてから設置箇所に貼り付け固定設置します。
- ※シールは強粘性で一度貼ると剥がしにくい為、慎重に取り扱ってください。



パネル型ゲートに

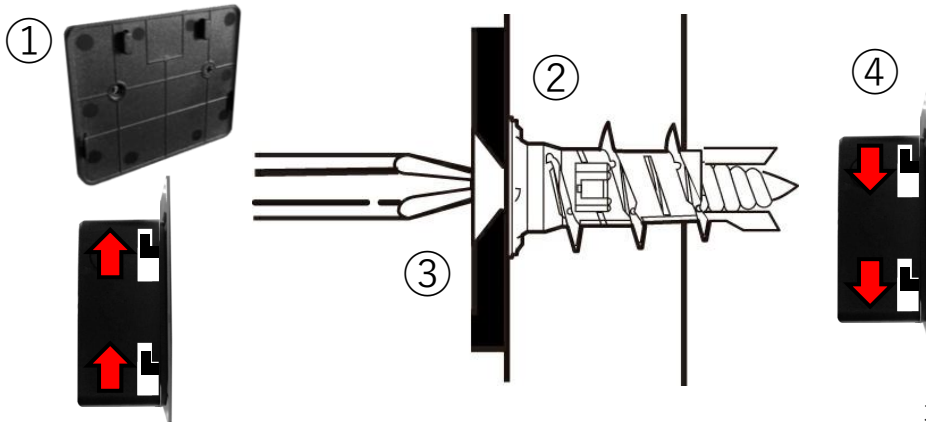


鉄骨や金属製の柱に

穴開け可能な壁面の場合

3Mシールで設置すると壁紙が破れる懸念がある場合はこちらの設置方法を検討してください。

- ①デバイスから背面カバーのみ取り外します。
 - ②(必要に応じて)ボードアンカーを壁面に埋め込みます。
 - ③背面カバーのみをネジでボードアンカーに固定します。
 - ④デバイスを背面カバーにスライドインして取り付けます。
- ※ボードアンカーは、石膏ボード等の乾式壁の場合、手の力のみでドリルドライバー等は不要です。



石膏ボードなど簡易穴開け可能な壁に

V.設置方法 ▶ 3.専用取付治具セットでの設置方法

☑ 専用取付治具オプション

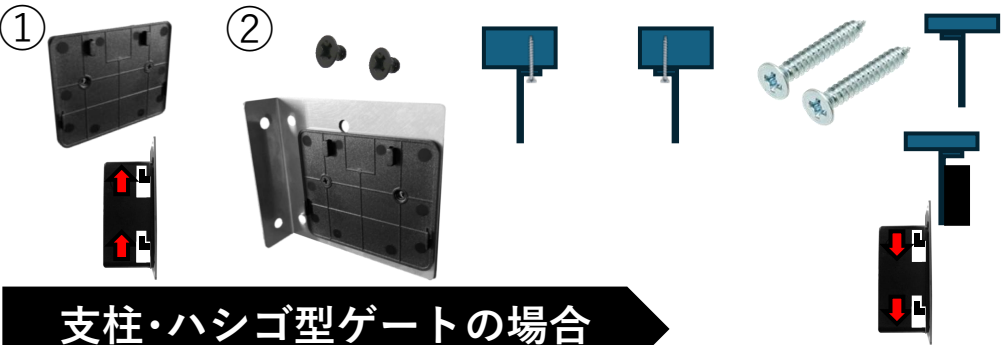
- オプション部品セットには下図の3種の部品があり、また場合により2種の工具が必要です。
- これらの部品は、出入口壁面やアルミサッシに対して垂直に取付する場合に有効です。
- その他、支柱やハシゴ型ゲートに括り付けて設置する場合にも有効です。



出入口壁面・アルミサッシの場合

向かい合う壁面が近くにない出入口の場合はほぼ必須になります。

- ① デバイスから背面カバーのみ取り外します。
- ② 精密プラスドライバーを使用し、背面カバーを固定用ネジでL字金具に固定します。
- ③ 壁面(アルミサッシ)に下穴をあけ、標準付属品のネジ等でL字金具を壁面に固定します。
- ④ デバイスを背面カバーにスライドインして取り付けます。



設置イメージ

支柱・ハシゴ型ゲートの場合

細い支柱に括り付けて取付することが可能です。

特に出入口に設置してある防犯ゲートとの相性は抜群で、多くの機種への取付に対応しています。

- ① デバイスから背面カバーのみ取り外し、ネジでL字金具に固定します。
 - ② L字金具と支柱の接地面を両面粘着テープで貼付仮固定します。
 - ③ 結束バンドを穴に通して支柱に強く締め付け完全に固定し、余った部分をハサミで切ります。
- ※結束バンドは市販のもので代用可能です。



ハシゴ型ゲートに



上下左右自在に取付可能

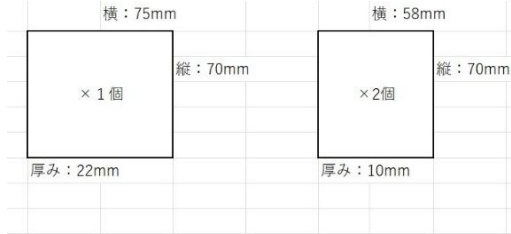
V.設置方法 ▶ 4.屋外(防水・防塵)仕様セットでの設置方法

☑ 屋外(防水・防塵)仕様の場合

- 屋外用オプション部品セットには下図の3種の部品があり、また場合により2種の工具が必要です。
- これらの部品は、屋外や防水・防塵、あるいは防犯が必要な環境への設置に有効です。
- 取付方法としては主に支柱やポールに括り付けて取付する場合に有効です。



防水・防塵プラボックス



専用ウレタン製アダプター



ポール取付金具



結束バンド



防犯ワイヤーロック+解除器



精密プラスドライバー
※付属なし

支柱やポールの場合



デバイス盗難対策

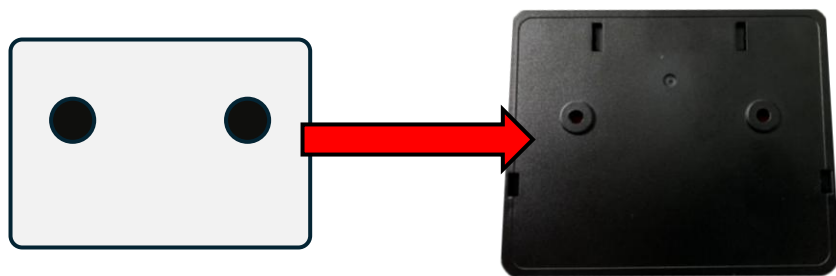


↑
屋外仕様では、支柱(角材)やポールに結束バンドを巻き付けて固定することを想定しております。それ以外の設置方法は現状確立していない為、工夫が必要です。

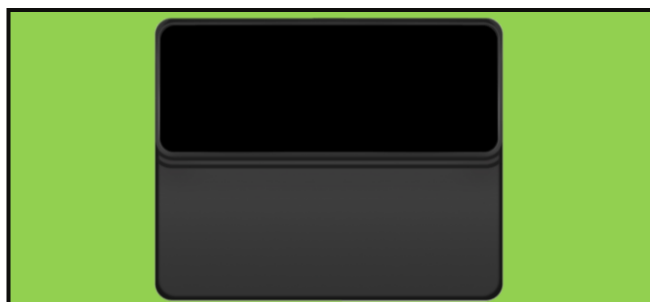
←
デバイスの盗難を危惧される場合は、盗難対策用ワイヤーロックの使用をご検討ください。

デモ設置(剥がす前提)の場合

①付属の強力両面テープを使用してその後、もう片面も剥がしてから設置箇所に貼り付け固定設置します。
※超強力一度貼ると剥がしにくい為、慎重に取り扱ってください。



②壁紙が剥がれるリスクのある設置箇所の場合は、下図のように養生テープを先に貼り付け、その上からデバイスを貼り付けると壁紙が破れる心配がありません。



スタンドの活用

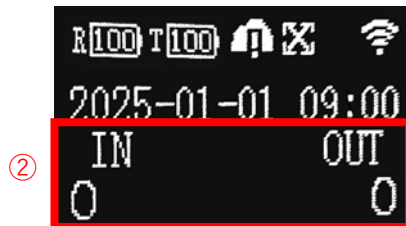
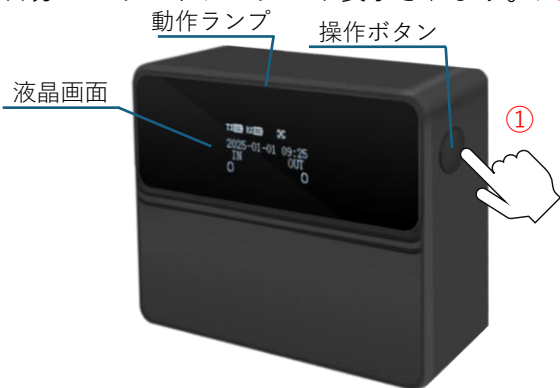
設置箇所に壁がないのでスタンドを利用したい、というご要望にお応えして現在開発検討中です。
お急ぎの場合は、100均グッズや市販製品を流用して設置することも可能です。
ただしあくまで臨時の設置方法ですので、取付方法には工夫が必要です。
※下記画像はイメージです。



VI.データの閲覧・出力 ▶ 1.オフラインモード

デバイス本体から確認(本日分データのみ)

- ①受信機の右側面にある操作ボタンを押します。
- ②本日分のカウントデータのみ表示されます。※液晶画面が15秒程度表示され、消灯します。



スマホアプリからの確認(蓄積データ)

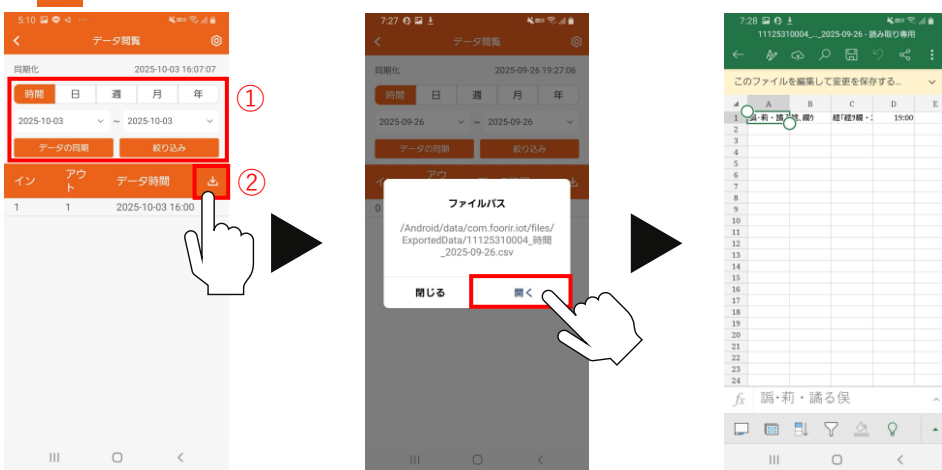
- ①前準備として、10ページを参照しBluetooth接続状態にしてください。
- ①「デバイス情報」の中から「デバイス閲覧」を選択します。
- ②「データの同期」を選択し、デバイスの蓄積データを読み込みます。
- ③必要なデータの期間単位(時間/日/週/月/年)と期間を選択して、「絞り込み」を選択します。



⚠ 選択した期間単位によって、期間の選択方法が異なるので注意してください。

スマホアプリからの出力(蓄積データ)

- ①上記「スマホアプリからの確認(蓄積データ)」に従って、必要なデータを表示させます。
- ② を押すと、表データをスマホに出力することが可能です。※出力後の挙動はスマホ機種により異なります。



VI.データの閲覧・出力 ▶ 2.オンラインモード

- ①データ閲覧・出力したい場所を任意に選択してください。
- ②各種検索条件を任意に指定してください。
- ③最後に「絞り込み検索」を選択してください。すると下部に折れ線グラフと表データが表示されます。
- ④「エクスポート」を押すと、各データを出力することができます。

データ検索 / 組織別

* 組織名 企業 組織名 ②

* 検索項目 IN人数 OUT人数 経過人数 換算人数 滞在人数 INグループ数 OUTグループ数 大人 小人 駐留者数 性別
年齢 従業員 顧客 車両進入 車が出る 重量除去後 総滞留時間 平均滞留時間 年齢を重視しない
性別を重視しない 従業員の再配置 総人数 マスター

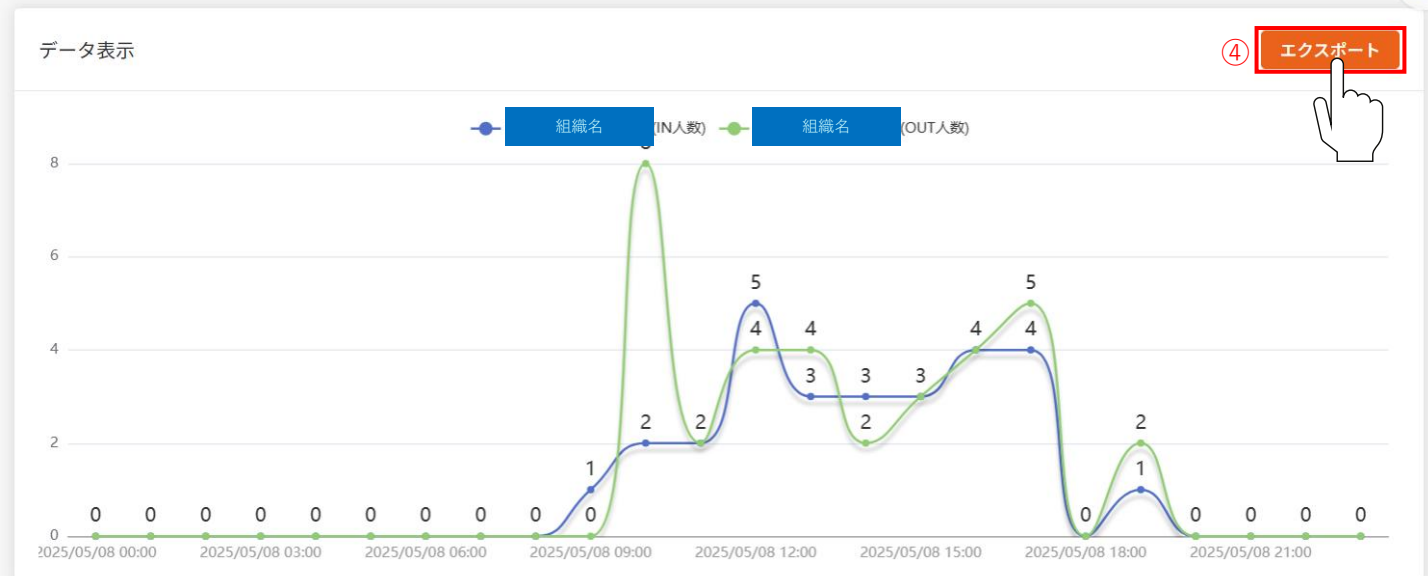
* 表示単位 5分 30分 1時間 日 週 月 年

* 期間 2026/04/21 00:00 - 2026/04/21 23:00

絞り込み検索 ③

合計 詳細

データ表示 エクスポート



表データ

④ エクスポート

カスタム名	数量	作成時間
組織名 (IN人数)	1	2025-05-08 09:00:00
組織名 (IN人数)	2	2025-05-08 10:00:00
組織名 (IN人数)	2	2025-05-08 11:00:00
組織名 (IN人数)	5	2025-05-08 12:00:00
組織名 (IN人数)	3	2025-05-08 13:00:00
組織名 (IN人数)	3	2025-05-08 14:00:00
組織名 (IN人数)	3	2025-05-08 15:00:00
組織名 (IN人数)	4	2025-05-08 16:00:00

VII.トラブルシューティング

I.電源・起動に関するトラブル

<ul style="list-style-type: none"> ・電源が入らない ・起動しない ・充電されない 	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・電源供給不足 ・充電不足
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプターは規定出力(例：5V/2A以上)を満たしているか ※規格を満たしていればデバイスに  (充電中マーク)が表示される ・デバイスのバッテリー残量は十分残っているか ※送信機のバッテリー残量は受信機と向かい合わせにすると表示される
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・別コンセントで確認 ・別アダプターで動作確認 ・デバイスが十分に充電されているか
<ul style="list-style-type: none"> ・電源がブツブツ切れる ・再起動を繰り返す 	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブル断線
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルに損傷がないか ・充電時、デバイスに  (充電中マーク)が連続して表示されているか
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルに損傷や断線がみられればケーブル交換
充電タイプの稼働時間が短い	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・内蔵バッテリーの劣化 ・オンラインモードのデータ保存・送信周期が長い ・送信機の出カレベルを高レベル(レベル2 or 3)に設定している
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各デバイスを100%まで充電し、何日間連続稼働可能かを検証する ・プラットフォームでログイン▶各種設定▶拠点を確認 ・送信機の操作ボタンを押して、現在の出力レベルを確認する
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーへの修理問い合わせ ・新品への買替検討 ・有線給電タイプへの買替検討 ・送信機の操作ボタンを押して、出力レベルを下げる(レベル1推奨)
本体が異常に熱い	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・直射日光 ・過充電
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・通風スペースが確保されているか ・充電タイプデバイスを有線給電で使用していないか
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日陰へ移設 ・換気スペース確保 ・充電タイプデバイスの有線給電しながらの運用を止める ・デバイスの汚れふき取り

VII.トラブルシューティング

II.検知・カウントに関するトラブル

カウント(検知)されない	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・赤外線的光軸焦点ズレ ・遮蔽物の存在 ・デバイスを壁などにしっかり固定できていない、などの設置不良
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・発光部と受光部は一直線か ・センサー間に遮蔽物(柱・什器・看板)がないか ・水平・平行・同一高さで設置されているか ・IN/OUTの向きは正しいか
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・光軸焦点を再調整 ・遮蔽物を除去 ・水平器を使用し再設置 ・適切な設置方法を再検討する
多重カウントする	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・滞留箇所への設置 ・設置位置が低すぎる ・手や腕の振りや荷物で誤検知する
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・人が立ち止まりやすい位置に設置していないか ・設置高さが1.2~1.4m内(大人の胸から上くらい)か ・設置高さが胸から肩くらいの位置に収まるか
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・滞留が起きない位置へ移設 ・人ひとり分以上のバッファゾーンを確保して設置 ・床面から1.2~1.4mへ再設置 <p>※検知対象の平均身長など、運用目的に応じて調整してください</p>
実人数と大きく乖離する 実人数より多く表示される	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・出入口に設置されていない ・出入口に設置されていない箇所のオンラインモード設定
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各種設定▶設置箇所▶編集を選択し、拠点出入口設定を見直す ・対象エリアの全出入口に設置しているか ・通用口・非常口など抜け道からの出入りはないか
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の拠点出入口を「いいえ」に設定する <p>※組織や拠点におけるIN/OUTカウント人数に含まれなくなります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象エリアの全ての出入口へ設置する <p>※一部のみ設置の場合、データは参考値となります</p>
屋外設置で誤作動する 晴天時に誤検知が増える	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・直射日光による赤外線反射 ・水や塵、埃による汚れがないか
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・直射日光が当たっていないか ・反射しやすい壁面が近くはないか ・動作温度範囲内(0~40°C)か ・水や塵、埃による汚れがないか
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日陰へ移設 ・遮光対策 ・防水、防塵対策 ・屋外(防水・防塵)仕様オプションの導入を検討する

VII.トラブルシューティング

Ⅲ.スマホアプリに関するトラブル

・画面がフリーズした ・更新中にフリーズした ・操作中にフリーズした	原因	・端末側の処理負荷 ・アプリ不具合 ・通信不良 ・OS・端末の問題
	確認事項	・特に不要
	対処方法	・アプリの再起動 ・端末の再起動 ・不要アプリの終了 ・アプリのアップデート
オフラインモード使用時 時刻がズレている	原因	・時間設定ができていない
	確認事項	・スマホアプリ▶デバイス情報▶時間設定を確認
	対処方法	・「スマホの時間と同期する」を選択する
・デバイスが発見できない ・Bluetooth接続できない ・Bluetooth接続が滞る	原因	・スマホ側のBluetoothモジュールの故障・不具合
	確認事項	・スマホを再起動して、アプリを再起動してもう一度接続を試みる ※通常は2〜3秒で接続完了します
	対処方法	・一度スマホのBluetooth機能をOFFにして、少し待ってからONにする ・上記とスマホの再起動を複数回繰り返してみる ・正常な別のスマホを使用する
・Wi-Fiに接続できない ・アプリにオフライン表示	原因	・Wi-Fi設定に誤りがある ・電波が弱い ・5GHz接続
	確認事項	・2.4GHz帯に接続しているか ・SSID/パスワードは正確か ・ルーターとの距離は適切か ・MACアドレス制限はないか
	対処方法	・ルーター再起動 ・本体再起動 ・Wi-Fi再登録 ・中継器設置
Wi-Fiの設定は合っているのに 接続成功にならない	原因	・設定は完了しているが、電波が弱い為、表示遅延が発生している
	確認事項	・デバイス情報画面を最上段までスワイプし、画面更新してみる
	対処方法	・設定が反映されるまで放置する ※繰り返し接続設定を行わない

VII.トラブルシューティング

IV.プラットフォームに関するトラブル

メール通知が日本語ではない	原因	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム新規登録時の言語設定を日本語にしていない ※通知の言語は登録時の言語設定に依存されます
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> メールボックスに届いているメッセージを確認する
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームを新規登録時の言語を日本語にする ・https://vf.foorir.com/jp/registerからアクセスし、言語を変更せず再登録
オンラインモード使用時 時刻がズレている	原因	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム上でタイムゾーン設定が正確にできていない
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームログイン▶各種設定▶拠点設定を確認
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> 上記設定よりタイムゾーンUTC/GMT+09:00(日本時刻)を選択して保存
紐付け(バインド)が失敗する 紐付け時にエラーが発生	原因	<ul style="list-style-type: none"> 別の場所とすでに紐付けしてある ※デバイス1台につき、紐付けできる設置先は1箇所のみ
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> 同アカウントのその他の設置箇所に紐づいていないか 別アカウントの設置箇所に紐づいていないか 別アカウントでデバイス登録をしていないか ※過去に別箇所で使用していた場合は以前の設定が残っている可能性あり
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> 18ページを参照し、別アカウントへのデバイス登録を削除する 20ページを参照し、一度紐付けを解除してから再登録する
クラウドにカウントデータが 送信されない 常に下記「サーバー接続失敗」 マークが表示される	原因	<ul style="list-style-type: none"> インターネット未接続 Wi-Fi電波が弱い 送信機、受信機デバイス同士が向かい合わせになっていない
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> インターネット接続は正常か Wi-Fiシグナルレベルはどうか 赤外線光軸焦点ズレ判定はどうか <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>シグナルレベル4段階 未接続</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ズレあり 問題なし</p> </div> </div>
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> 接続テスト実施 光軸焦点の再調整 (インターネット接続が正常であれば)触らずに数分間待つ ※シグナルが弱いと接続に時間が掛かるケースが確認されています



保証規定

本保証規定は、本製品を安心してご使用いただくための保証内容および適用条件について定めたものです。

①保証期間

本製品の保証期間は、納品日または検収完了日より1年間とします。

②保証内容

保証期間内において、正常な使用状態で発生した不具合については、当社の判断により無償で修理または同等品への交換を行います。

③保証対象外事項

以下のいずれかに該当する場合は、保証の対象外とします。

- ・取扱マニュアルまたは仕様書に反する使用による故障
- ・お客様または第三者による改造、分解、修理、電池交換に起因する不具合
- ・落下、衝撃、水濡れ、火災、落雷、地震等の外的要因による損傷
- ・消耗部品の劣化および交換
- ・設置環境(高温、低温、多湿、粉塵等)に起因する不具合

④費用負担について

保証対応は製品本体に限るものとし、以下の費用は保証対象外とします。

- ・製品の取り外しおよび再設置費用
- ・現地作業費および出張費
- ・輸送費(当社が認めた場合を除く)

⑤免責事項

本製品の故障または不具合により発生した間接損害(営業損失、逸失利益、データ損失等)について、当社は一切の責任を負わないものとします。

データ・プライバシーに関する注意

本製品はクラウドサービスを利用するため、データの取り扱いについて以下の点にご留意ください。

①データの管理責任

本製品を通じて取得・管理されるデータについては、利用者の責任において管理されるものとします。重要なデータについては、必要に応じてバックアップを取得してください。

②通信およびセキュリティ

本製品は一般的なセキュリティ対策を講じていますが、すべての脅威に対する完全な安全性を保証するものではありません。

ネットワーク環境や運用方法により、セキュリティリスクが生じる可能性があります。

③利用環境の影響

本製品の動作およびデータ通信は、ネットワーク環境や外部要因の影響を受ける場合があります。通信障害等により、一時的にデータ取得や表示が行えない場合があります。

④個人情報の取扱い

本製品の利用にあたり取得される情報のうち、個人情報に該当するものについては、関連法令に基づき適切に管理してください。

⑤免責事項

本製品の利用に関連して発生したデータの消失、漏洩または第三者による不正アクセス等について、当社は一切の責任を負いかねます。

VIII. 注意事項および免責事項

使用上の注意

本製品を安全かつ適切にご使用いただくため、以下の内容を必ずご確認ください。

①使用環境について

- 本製品は、以下の環境条件を満たす場所で使用してください。
- ・屋内環境での使用を前提としています。屋外使用する場合は対応オプションを別途ご購入ください。
 - ・高温、多湿、直射日光、粉塵の多い場所での使用は避けてください。
 - ・水濡れ、結露の発生する環境では使用しないでください。

②電源および設置条件

- ・指定された電源仕様に従ってご使用ください。
- ・不安定な電源環境や過電圧状態での使用は故障の原因となります。
- ・配線および接続は確実に行ってください。

③充電・バッテリーについて

- ・充電は指定された充電方法および充電機器をご使用ください。
- ・充電中は周囲に可燃物を置かないでください。
- ・高温環境下での充電や長時間の連続充電は避けてください。
- ・長期間使用しない場合でも、定期的に充電状態をご確認ください。
- ・内蔵バッテリーは消耗品です。使用状況や保管環境により使用可能時間が短くなる場合があります。

④取扱いについて

- ・本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- ・分解、改造は行わないでください。
- ・異常(異音、発熱、異臭等)が発生した場合は直ちに使用を中止してください。

⑤通信環境について

- ・安定したネットワーク環境でご使用ください。
- ・通信環境によりデータ取得や表示に遅延が発生する場合があります。

⑥使用条件の遵守

本製品は、本書に記載された使用条件および設置条件に基づいてご使用ください。
これらの条件を満たさない使用に起因する不具合については、保証対象外となる場合があります。

設置・施工に関する注意事項

本製品の設置および施工にあたっては、安全性および法令遵守の観点から、以下の事項を遵守してください。

①施工者について

電気配線工事や高所作業を伴う場合は、有資格者または専門業者による施工を行ってください。
不適切な施工は、故障や事故の原因となります。

②設置条件の確認

- ・設置場所の強度および安定性を十分に確認してください。
- ・落下防止措置を講じてください。
- ・周囲環境(温度、湿度、粉塵等)を考慮して設置してください。

③配線および電源工事

- ・配線は関連法令および規格に従って施工してください。
- ・電源容量および電圧条件を確認のうえ接続してください。
- ・配線の損傷や誤接続がないよう十分注意してください。

④法令および規格の遵守

設置および運用にあたっては、関連する法令および各種規格を遵守してください。

⑤責任範囲について

設置環境、施工方法または配線不良等に起因する不具合については、保証対象外となる場合があります。

VIII. 注意事項および免責事項

サーバーセキュリティおよび通信の安全性について

本製品はクラウドサーバーを利用したシステム構成となっており、データの取り扱いおよび通信の安全性について、以下の対策を講じております。

①サーバーの運用体制

本製品はクラウドサーバーを利用し、機器から送信されたデータをサーバー上で保存・集計し、専用プラットフォームを通じて表示します。

なお、サーバーは海外リージョン(中国・深圳)に設置されています。

②通信の安全性

機器とサーバー間の通信はHTTPS(SSL/TLS)により暗号化されており、通信内容の傍受や改ざんを防止します。

③アクセス制御

プラットフォームへのアクセスは、ユーザーIDおよびパスワードによる認証管理が行われています。

④外部からの不正アクセス対策

クラウド環境において、以下のセキュリティ対策が実施されています。

- ・クラウドファイアウォール
- ・セキュリティグループによるアクセス制御
- ・ネットワークアクセスコントロール
- ・侵入検知/防御システム(IDS/IPS)
- ・脅威インテリジェンスによる監視

⑤セキュリティ認証および監査体制

サーバー運用基盤は、以下の国際的なセキュリティ認証に準拠しています。

- ・ISO/IEC 27001(情報セキュリティ)
- ・ISO/IEC 27701(プライバシー情報管理)
- ・CSA STAR(クラウドセキュリティ認証)

また、クラウドセキュリティセンターによる監視および操作ログの監査(ActionTrail)により、不正アクセスや異常動作の検知体制が整備されています。

⑥Wi-Fi設定情報およびネットワーク情報の取扱い

本製品のWi-Fi設定時に入力されるSSIDやパスワード等の情報は外部サーバーへ送信されません。

また、固定IPアドレス情報が外部サーバーへ送信・保存されることはありません。

⑦データ保護に関する補足

通信経路は暗号化により保護されていますが、保存データの取り扱いについてはクラウド基盤の管理ポリシーに基づき運用されています。

⑧ご利用にあたっての注意事項

本製品は一般的なクラウドセキュリティ対策を講じていますが、企業ポリシーにより海外サーバーの利用が制限されている場合は、事前にご確認ください。

⑨免責事項

本製品の利用環境、ネットワーク構成、または外部要因に起因するセキュリティリスクについて、当社はすべての状況に対する完全な安全性を保証するものではありません。

工事設計認証

本製品は、総務省の登録証明機関による工事設計認証(技術基準適合認証)を受けた設計に基づき製造された無線設備です。当該認証は、総務省が定める電波法に基づく技術基準に適合していることを証明するものです。本製品は、認証された仕様および構成の範囲内において、日本国内での使用が認められています。尚、本体に技適マークおよび認証番号の表示がない場合は、本書の記載内容をもってこれに代えるものとします。
※「電波法によりW52は屋外利用禁止です。」の表示はあくまで法令上の要件に基づくものであり、本製品はW52不使用の為、屋外使用可能です。



R 005-103891

- Product Model: FP111
- Product Name: IR People Counter
- Power Supply: 3.7V Lithium Battery (5000mAh) / Type-C wired power supply (5V 2A)

電波法によりW52は屋外利用禁止です(法令により許可された場合を除く)。Indoor use only for 5150-5250 MHz band.